

令和6年度酒々井町教育委員会11月定例会議 議事録

開催日 令和6年11月29日(金)

開催場所 役場西庁舎2階第1会議室

出席委員	教 育 長 林 洋子	教育長職務代理者 村重 浩二
	委 員 大塚 益子	委 員 河端 孝順
	委 員 大宮 綾子	

出席職員	教 育 次 長 越川 和章	こども課長 宮田 浩司
	学校教育課長 會田 悦久	生涯学習課長 伊藤 尚志
	中央公民館長 殿城 和恵	学校給食センター所長 伊藤 雄三
	プリミエール酒々井館長 佐藤 高信	こども課副主幹 坂本 康宏
	こども課副主査(書記) 高橋 秀和	

1 開会時刻 14:00

2 議事録署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案

議案第1号 教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について

議案第2号 令和6年度12月補正予算(案)について

(1) 報 告

報告第1号 教育委員会職員の分限処分について

報告第2号 行政報告について

4 次回会議の予定 12月20日(金)午後2時 西庁舎2階第1会議室

5 教育長・教育委員の予定

6 その他

7 閉会時刻 15:05

1 開会の言葉

林教育長

ただ今より、令和6年度酒々井町教育委員会11月定例会議を開会します。

2 議事録署名委員の指名

林教育長

続きまして、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、大宮委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 議案

林教育長

これから議題に入ります。本日の議事は議案が2件、報告が2件です。

はじめに、非公開とすべき議事についてお諮りします。議案第2号は、議会上程前の案件に関するもの、また、報告第1号は、人事に関する案件でございますので、非公開にしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

林教育長

ご異議ありませんので、議案第2号及び報告第1号は、非公開とすることに決定しました。

それでは、初めに議案第1号「教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

宮田こども課長

議案第1号「教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について」

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)を別添のとおり作成したので、酒々井町教育委員会行政組織規則第5条第9号の規定により議決を求めます。

評価委員会は、令和6年8月8日(木)に評価委員3名出席のもと開催いたしております。

今会議での議決を経たのち、町議会へ提出並びに町ホームページ等での公表となります。

以上でございます。

林教育長

事務局の説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。

ご意見、ご質問等はありませんか。

大塚委員

11ページをお願いします。学校教育課の「教育環境の整備」で通学路安全点検の実施という項目について、令和4年度の施策評価表では13箇所安全点検を行ったと報告されていましたが、令和5年度は12箇所に減っています。なぜ1箇所減ったのかお聞かせ下さい。

會田学校教育課長

通学路を点検する箇所については、各学校からPTAと協議の上、「この箇所を点検してほしい」と話が上がってきます。担当指導主事が全ての点検希望箇所を回って実際に点検すべきである箇所を選定していますので、年によって点検箇所の数が変わります。昨年度につきましては、12箇所を選定しました。

大塚委員

37ページをお願いします。学校給食センターの学校給食費収納事務について、督促に応じない保護者に対しては、簡易裁判所による支払督促制度を使用し、収納につなげた、とありますが、実際に何名くらいこういった家庭があったのでしょうか。

伊藤学校給食センター所長

昨年度の簡易裁判所による支払督促制度使用は1名でした。

大塚委員

ありがとうございます。お疲れ様でございました。

生涯学習課ですが、前年と比較して26ページの地域未来塾の参加率が26パーセントから41パーセントに増えたことと30ページの本佐倉城跡のボランティアの参加者や本佐倉城跡案内所の訪問者が増加したことは地道に活動してきた成果だと思います。ありがとうございます。

林教育長

他に、ご意見、ご質問等はございますか。

(意見、質問等なし)

林教育長

他にご意見、ご質問等ないようですので、これから採決を行います。

議案第1号「教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について」賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

林教育長

挙手全員です。したがって、「議案第1号」は可決されました。

次に、議案第2号「令和6年度12月補正予算(案)について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 令和6年度12月補正予算(案)について

林教育長

以上で、議案の審議を終わります。

(2) 報告

林教育長

続きまして、報告に入ります。

初めに報告第1号「教育委員会職員の分限処分について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 教育委員会職員の分限処分について

林教育長

次に、報告第2号「行政報告について」を議題とします。

以降の会議は公開しますので、あらかじめご了承願います。

まずは私からご報告します。

はじめに感染症関連について報告します。マイコプラズマ・インフルエンザ・発熱・頭痛急性呼吸器症状等ですが11月22日(金)に何人かの感染が見られましたが連休を挟んで25日(月)に合わせて19名に急増してしまいました。よって25日～27日までの3日間を酒々井小学校4年生を学年閉鎖しました。他学年も欠席者が増加の経過を示していることから健康には十分に注意を呼びかけています。なおコロナの感染は今のところ0人です。

次に第一部会音楽発表会について報告します。小学校は10月30日(水)・中学校は10月31日(木)に佐倉ハーモニーホールで開催されました。酒々井小学校は5・6年45名、大室大小学校は5・6年48名が共に合奏の部に出場しました。中学校は合奏の部に吹奏楽部が合唱の部には3年3組が出場しました。第一部会の代表として大室大小学校と酒々井中学校の吹奏楽部が郡発表会に出場が決まりました。

11月3日(日)には町の表彰式が行われ自治功労表彰で5名の方が表彰されました。そのうち酒々井町教育長として3期9年間にわたり町の教育行政の振興発展に貢献いただいた前教育長木村俊幸様が表彰されました。また、全国少年少女レスリング選手権大会3年生39キログラム級に出場し優勝という快挙を成し遂げた江波戸星空(かなた)さんがスポーツ表彰に輝きました。

11月15日(金)酒々井小学校で北総教育事務所次長訪問がありました。一人ひとりを大切に指導している授業展開をご覧頂きました。「子どもたちが安心感があり生き生きとした笑顔がよかった」「チームしすいで子どもを育てている」等の評価を頂きました。

11月18日小中教委連絡会議がありました。各学校を訪問して授業を参観させて頂く機会がたくさんあり、感じたことを話させて頂きました。先ず教師・子ども共に笑顔が沢山見られ子どもが「わかった」「もっとやりたい」と言う様子が見て取れました。今後更に力を入れてほしい点は、相手に伝わるように、声の大きさ・速さ等を指導してほしい旨を伝えました。

以上です。

河端委員

10月26日(土)酒々井小学校運動会に出席いたしました。

天候が良く気温も快適で運動会に適した日でした。紅組、白組どちらも懸命に競技を頑張っていました。

運動会といえばやはり徒競走やリレーが盛り上がりますが、学年が高学年になればなるほど迫力も違いました。走力に関しては個人の癖や筋肉などで違いが出てくるのは間

違うのですが、体育の授業で専門的な走り方を学ぶのも良いのではと思いました。

最後の双方応援団長の言葉にはグッとくるものがあり、来年も盛り上がる運動会を目指してほしいものです。また、各子ども達も競技の素晴らしさと目標に向かって頑張ることを続けて知ってほしいと思いました。

以上です。

大宮委員

私は、11月5日（火）、12日（火）に行われました就学支援委員会についてご報告いたします。

5日に行われた第2回の議題は審議1「第1回就学支援委員会において継続審議等となった児童について」対象児童、生徒がいないため審議なしとなりました。

審議2「令和7年度特別支援学級入級及び特別支援学校該当児童について」酒々井小学校5名大室台小学校2名の対象者を審議しました。

審議3「令和7年度言語通級指導教室に係る該当児童について」ですが、酒々井小学校、大室台小学校両校担当教員が欠席のため12日に持ち越しとなりました。

12日に行われた第3回就学支援委員会では、5日に審議できなかった言語通級指導教室について酒々井小学校、大室台小学校各6名の対象者の審議を行いました。

審議2「令和6年度特別支援学級新規入級児童生徒及び特別支援学級修了児童生徒について」、酒々井小学校3名の審議をしました。大室台小学校、酒々井中学校はなしでした。

審議3「令和6年度言語通級指導教室通級開始児童」、審議4の「修了児童について」審議しました。

最後に報告として、中学校特別支援学級3年生進路希望状況について3名の生徒の11月現在の報告があり、今年度の就学支援委員会は終了しました。3名の生徒が希望通り入学できるよう応援したいと思います。

以上です。

大塚委員

印教連指定、酒々井町指定の道徳研究会が11月22日（金）大室台小学校で開かれ参加いたしましたのでご報告いたします。研究主題は「思いや考えを伝えあう子どもの育成～伝えあいを通して自他の考えを広げ・深める道徳の授業づくり～」です。

はじめに1年生の授業を見ました。「はしの上のおおかみ」を教材として橋の上で威張って小動物に通せんぼをするオオカミの心情を追っていき、その変化から親切思いやりについて学ぶものです。それぞれの場面において、困った顔、泣いた顔、喜んでいる顔などのイラストを使うことによって登場人物の心情を分かりやすく読み取らせていました。

児童のつぶやきがたくさん聞かれ児童が積極的に授業に取り組んでいることが分かりました。他の学年でもハートメーターや1人1台端末のオクリンクというソフトを使用することで自他の考えが目で分かる工夫や、6年生でも役割演技を取り入れるなど児童の葛藤を効果的に引き出す工夫がされており感心させられました。

また、「あいづちの言葉」が掲示されており、友達の意見を受容的に受け止める工夫もされていました。

講師の千葉県北総教育事務所指導室主席指導主事の高橋圭先生からは、「児童が安心してよく考え生き生きと伝えあっていた、人権教育の考えが根付き学びや気づきを日常生

活で実践できている」との講評がありました。

記念講演での上越教育大学学長の林泰成先生による「令和の日本型学校教育にふさわしい道徳の授業実践について」の中でご自身の失敗談をもとに「大人になっても道徳的な考え方や行動をトレーニングしていく必要がある」とおっしゃったことが心に残りました。

以上です。

林教育長

その他に教育委員の皆様からご報告することはございませんか。

(報告事項なし)

林教育長

続きまして、事務局より報告をお願いします。

宮田こども課長

(報告)

會田学校教育課長

(報告)

伊藤生涯学習課長

(報告)

殿城中央公民館長

(報告)

伊藤学校給食センター所長

(報告)

佐藤プリミエール酒々井館長

(報告)

林教育長

教育委員の皆さん、そして事務局から行政報告がございました。

これから質疑に入ります。ご意見、ご質問はございませんか。

(意見、質問等なし)

林教育長

特に、ご意見、ご質問等ないようですので、以上で報告を終わります。

4 次回会議の予定

林教育長

続きまして、「次回会議の予定」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

宮田こども課長

次回会議の予定ですが、令和6年12月20日(金)午後2時から役場西庁舎2階第1会議室で予定させていただいております。併せまして1月の予定ですが、1月24日(金)午前9時30分から同会議室で予定させていただいております。

以上でございます。

林教育長

事務局の説明のとおり、次回会議は12月20日(金)午後2時から、1月は24日

(金)、午前9時30分から行うことでよろしいですか。
(全員了承)

林教育長

それでは、そのようにご予定願います。
以上で、次回会議の予定を終了します。

5 教育長・教育委員の予定

林教育長

続きまして、「教育長・教育委員の予定」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

宮田こども課長

(予定説明)

林教育長

事務局から説明がございました。お聞きのとおりご予定願います。
以上で、教育長・教育委員の予定を終了します。

6 その他

林教育長

続きまして、「その他」を議題とします。

学校教育課からのその他全国学力状況調査結果につきましては、非公開にしたいと存じますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

林教育長

ご異議ありませんので、全国学力状況調査結果につきましては、非公開とすることに決定しました。

それでは、学校教育課より説明をお願いいたします。

非公開 全国学力状況調査結果について

林教育長

事務局からその他にございますか。

伊藤学校給食センター所長

学校給食センターからその他でございます。酒々井町学校給食の調理・配送・配膳とこれらに係る業務を令和7年9月1日から富里市に委託することにつきましては、酒々井町及び富里市の6月議会でそれぞれ可決成立したところでございます。その後、両市町において協議・検討を続けてきたわけですが、現時点での合意事項等について、ご説

明をさせていただきます。

お手元に配付させていただきました「学校給食センターの共同利用に関する協議の進捗状況について」と書かれたA4縦長の資料をご覧ください。

まずはじめに、「協定締結後の動きについて」でございますが、6月の協定締結後、酒々井町と富里市で協議をしてまいりましたので、その概要を記載しております。

次に、「合意に至った主な事項」を順次ご説明させていただきます。1番目は、調理等委託料の負担割合として3つございます。人件費につきましては、正社員分については、酒々井町、富里市それぞれ50パーセント、契約社員及びパートタイム労働者については食数按分にするという合意でございます。配送業務については、酒々井町が車2台、富里市が車4台となっております。配膳業務につきましては、配膳員人数按分で酒々井町各校2名、富里市は各校1名、富里小のみ2名となっております。酒々井町の配膳員が多いのは、学校の用務員の仕事内容が異なることなどが理由となっております。スタートの時点では、酒々井町の学校の配膳員は2名とさせていただきます。

次に、給食の実施回数ですが、年間193回を基本とします。参考といたしまして、今年度の給食実施回数ですが、酒々井町193回、富里市190回となっております。

次に、栄養士の配置についてですが、千葉県が費用を負担する栄養士のことでございます。現在、酒々井町1名、富里市2名の合計3名配置されていますが、共同利用開始後は、酒々井町と富里市の食数を合わせても2名の配置となり、1名減員となってしまいます。それでは、現場の対応が難しくなりますので、激変緩和措置として、千葉県教育委員会に2点要望を行っております。1つ目が令和7年度途中に栄養士1名が引き揚げとしないこと、2つ目が令和8年度以降も3名体制の栄養士の人数を維持することでございます。

次に、給食費につきましては、共同利用開始時は、両市町ともに給食費の金額は変更せず、現行の給食費のままでスタートすることとなっております。理由ですが、給食費を定めて行くには様々な要素がありますので、スタートの時点で揃えるのではなく、さらに検討を続けていくということでございます。

次に、学校給食センター運営委員会についてですが、現在、酒々井町でも富里市でも学校給食センター運営委員会が設置されております。来年9月1日からは、富里市の学校給食センター運営委員会の委員として、酒々井町選出委員を3名程度入れて運営する合意となっております。酒々井町は学校給食センターがなくなりますので、酒々井町の学校給食センター運営委員会は廃止する方向で調整しております。富里市学校給食センターに加わる酒々井町選出委員の構成としましては、学校長1名、保護者代表1名、学識経験者1名とする方向で協議をしております。

次に、食育授業や啓発物の配布及び異物混入・食中毒対応についてですが、いずれも富里市と酒々井町で、現在概ね同様のことをしておりますので、両市町現行どおり行うというような合意でございます。なお、異物が混入したり食中毒が発生した際は、現場の混乱が想定されますので、あらかじめ学校給食の危機管理マニュアルを作成しまして、対応していくこととしております。

次に、酒々井産食材の使用についてですが、現在、酒々井町の学校給食では、酒々井産の食材として地元産コシヒカリを100パーセント使用しているほか、野菜等は給食出荷部会という農家の方々に構成する団体から季節によって購入しております。大根や長葱やさつま芋や人参などです。また、町内で生産された手作り味噌も月あたり2回使

用しております。これらを今後も継続して使用できるように富里市と協議を行っているところです。給食の出荷部会の方々とも協議しております。現段階でどのような使用になるかは決まっておりますが、そのような方向で進めていきたいと考えております。

次に、修繕についてですが、富里市は、共同利用開始までに、施設設備の不具合箇所について点検・修繕を行い、故障などのない状態で酒々井町を受け入れたいとおっしゃっております。その上で、来年9月の共同利用開始以降、修繕が発生した場合は、食数按分を基本とした負担割合として修繕をいたします。また、学校給食センター本体（駆体）や、ボイラーなど大きな設備の修繕が必要となった場合には、その負担割合について、別途協議するという合意に至っております。先ほどから食数按分と申し上げておりますが、共同利用開始時点の推計では、酒々井町が26パーセント、富里市が74パーセントと見込んでおります。

次に、残菜処分については、富里市と酒々井町で出る残菜は、富里市の学校給食センターで計量した後、水分を絞って搬出する予定としております。これは、給食事務の受託先である富里市に一括して処分していただくこととなります。処分の方法は、現在、2通りを想定しています。1つ目は、富里市がゴミの処分を委託している成田市の「成田富里いずみ清掃工場」で事業系の廃棄物として処分する方法です。2つ目は、食品リサイクルの推進を考慮する必要があることから、リサイクル業者によるリサイクル処分とする方法です。このいずれかの方法で処分していく方向で協議をしております。

次に、配送計画につきましては、酒々井町専用車両を2台使用して、主に国道296号を使用する予定でございます。

最後に、今後の予定についてですが、まだ決まっていない事項について、スピード感をもって進め、円滑なスタートを行えるよう各準備作業を進める予定としてございます。

以上が、合意事項でございます。

富里市との協議は今後も続いてまいりますので、進捗の状況は適宜教育委員の皆様方にご説明・ご報告をさせていただきたいと考えております。

また、今回の説明の資料の中で予算規模に関する部分はございませんが、これまでにご説明をさせていただいた額、すなわち、富里市学校給食センターの設備増設費用と酒々井町の児童生徒等が使用する食器・食缶等の購入費用約5,300万円という額は、現在のところ変更ございません。今後、令和7年度の当初予算に計上する方向で調整しておりますので、当初予算の概要の中で、詳細をご説明させていただきたいと存じます。

なお、ここまでご説明・ご報告させていただいた内容につきましては、12月3日（火）町議会12月定例会の全員協議会におきましても同様のご説明・ご報告をする予定となっておりますので、あらかじめご承知おきいただきたいと思います。

学校給食センターからの「その他」につきましては、以上でございます。

林教育長

事務局からその他にございますか。

宮田こども課長

先ほどこども課の行政報告並びに資料としてもお配りさせていただいておりますが、10月31日（木）に第2回学校施設のあり方検討会議を開催いたしましたので、その件につきましてご報告をさせていただきます。

第1回の会議にて酒々井町の学校施設の現状や課題、大まかな児童・生徒数の推計等をテーマに情報の共有を主要な目的として開催いたしました。その中で、特に児童数

の減少に伴う単学級化について現場に携わる校長先生から強く避けるべきという意見が出ました。

そこで第2回目の会議では、単学級化にスポットを当て、小学校2校で単学級化となる推計、単学級化に対するメリット・デメリット、単学級化を回避する方法等をテーマに議論を進めました。

第1回目同様、現場の先生方からは単学級化回避の意見が出ましたが、一方、単学級でも複数でも教師としてやることは変わらない、という意見もあり、各校から保護者代表として参加していただいている保護者からもどちらであっても児童・生徒の教育をしっかりしていただければ、という意見もありました。

次回会議は12月26日(木)に開催の予定で、さらに議論を進めていければと考えております。以上です。

林教育長

事務局からその他にございますか。

(事務局その他なし)

林教育長

事務局からその他は以上ですが、委員の皆さんからその他はございませんか。

(教育委員その他なし)

林教育長

ないようですので、以上でその他を終了します。

7 閉 会

林教育長

以上をもちまして、本日の日程に掲げました案件は、すべて終了しました。

令和6年度酒々井町教育委員会11月定例会議を閉会といたします。

(15:05)

議事録署名 教育長

委 員

議事録作成職員

こ ど も 課